

提案型協働事業計画書 (活動支援交付金)

団 体 名	武豊町防災ボランティアの会 : 提案型協働事業代表:鈴木重久		
	設立年月日	平成 16 年	団体の構成人数
1 事業の名称及び実施期間	名称: 武豊町水害ハザードマップに基づく避難行動の周知事業 期間: 令和4年4月1日から令和5年1月31日 (交付金交付 3 年目)		
2 該当する第 6 次総合計画の 9 つのまちづくりの目標	まちづくり目標 災害に強く、安全安心に暮らせるまち		
3 解決へ向けて取組む地域課題	令和 3 年策定した「武豊町水害ハザードマップ」に記載されている内水・及び外水浸水予想図、土砂災害警戒区域図を考慮して、避難の必要性和自宅避難か自宅外避難かを認識する必要がある。百年千年一の想定による避難行動が取れる図上訓練が出来てない。		
4 協働対象部署	・ 防災交通課、学校教育課(武豊町教育委員会)		
5 事業の内容等 (1) 事業内容と方法 (2) 実施場所 (3) 対象者 (人数等具体的に) (4) 事業 PR の方法 (5) その他	(1) 内 容 : ①水害及び土砂災害リスクのある地区からの避難について水害ハザードマップと自宅の防災カルテから、災害ワークシートを作成することで戸別避難とタイミングを認識する。 ②地区防災計画「水害避難への理解向上」に寄与する。 ③防災授業として取組み子供と保護者にも周知する。 (2)実施場所: 地区公民館等指定会場と町内中学校 (3)対 象 者: 町内 1 8 区住民と希望団体、中学 1 年生 2 校で 350 名 (4)事業 PR : 自主防災連絡会で各区長、各区防災リーダーに取組み方法など説明し、避難行動タイムラインの大切さを普及する。 学校防災で水害避難の取組みをすることで、子供を通じて保護者にも避難行動と避難タイムラインの大切さを認識して頂く。 (5)その他		
6 事業実施により期待される効果	近年起こりうる大水害時の避難経路の確認を行うことにより、迅速に適切な避難行動をとることが出来る。		
7 事業の特徴	自宅の災害リスクを検証し、避難先と避難経路の危険カ所を顕在化させる事で、地区ごとの避難行動の安全性、実効性を高め備える。対象を地域住民 (大人) だけでなく、子供と保護者に周知することで、地域防災力の強化育成となると考えている。 避難行動のパッケージ化で避難タイムライン認識と感度を高める。		
8 今後の事業ビジョン	区防災訓練で水害図上訓練と地域防災点検を実施して周知する。学校と調整し、防災教育の一環として継続的に水害避難周知を図る。		
9 他の交付金等への申請状況 (交付金名・予算額) ※なければ「なし」と記載	なし		
10 その他	協働事業対象部署に加え、町内自主防災会との連携も予定している		